

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年9月24日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をさせていただきます。

まずは、1. 原子力規制委員会、（1）第31回原子力規制委員会、25日水曜日の10時半から開催されます。

議題は5つございます。それぞれ御説明いたします。

議題1「関西電力株式会社高浜発電所1号炉、2号炉、3号炉及び4号炉の発電用原子炉設置変更許可について（案）－所内常設直流電源設備（3系統目）の設置、重大事故対処設備及び体制の一部変更－」。こちらは、関西電力・高浜発電所の設置変更許可に関しまして、8月21日の原子力規制委員会で原子力委員会と経済産業大臣の意見を聴取することとなり、その回答があったことから、審査書の取りまとめと許可について、委員会に諮るものです。

続きまして、議題2「九州電力株式会社玄海原子力発電所3号炉及び4号炉の発電用原子炉設置変更許可について（案）－原子炉安全保護計装盤等の更新－」。こちらは、先ほどと同じく8月21日の原子力規制委員会におきまして、九州電力・玄海原子力発電所3号機と4号機の設置変更許可に関し、経済産業大臣、原子力委員会に意見聴取をすることとなり、その回答があったことから、審査書の取りまとめと許可について、委員会に諮るものです。

続きまして、議題3「新たな検査制度（原子力規制検査）の実施に向けた法令類の整備（第二段階）及び意見募集の実施について」。こちらは、来年4月から開始される新たな検査制度に向けて必要となる法令等のうち、既に意見募集を実施した政令等の改正案に続きまして、第2段階目の制定や改正として原子力規制委員会規則等の改正案ができましたので、それらを報告し、意見募集の実施について、委員会に諮るものです。

続きまして、議題4「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子力施設（NSRR）その他試験研究用等原子炉施設における設計及び工事の方法等に関する申請漏れに係る調査結果等について」。こちらは、これも8月21日の原子力規制委員会におきまして、日本原子力研究開発機構（JAEA）の原子炉安全性研究炉（NSRR）の設

計・工事方法認可に関しまして、消火設備の申請漏れについて報告を行いました。その際に委員会より、ほかの申請漏れがないか調査するよう指示があったことから、その結果について報告をするものです。

続きまして、議題5「国際原子力機関（IAEA）総会、国際原子力規制者会議（INRA）等の結果概要及びフランス出張報告について」。こちらは、先週、委員長の更田がオーストリアとフランスに出張した結果の概要を報告するものです。

規制委員会の関係は以上となります。

続きまして、検討チームの会合、会見です。1枚飛ばしておめぐりいただきまして、3ページ目を御覧ください。

下のほうになります。9月30日月曜日、(9)第8回核燃料施設等の廃止措置計画に係る審査会合。こちらは、神奈川県川崎市麻生区に、1975年に運転を停止して、今も廃止措置が続いている試験研究炉がございます。その廃止措置作業の一環として、解体した廃棄物を一時保管する建屋の新設に関する廃止措置計画の変更認可申請が8月2日であったことから、その申請の概要について、事業者から説明を受けるものです。

続きまして、その下、(10)第304回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは、京都大学の臨界実験装置（KUCA）の設置変更承認申請に関しまして、燃料の低濃縮化についての9月2日の会合のコメント回答を受けるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

○記者 北海道新聞のウエノです。

27日金曜日にあります適合性の審査会合、議題2の北電の泊原発の津波評価及び敷地の地質・地質構造についての具体的な内容を教えてください。

○児嶋総務課長 お答えします。

先週のたしか前回の定例ブリーフィングで申し上げたと思うのですが、ちょっと今、うろ覚えですけれども、津波評価に関しましては、北海道東縁部の津波に関して再評価するよう、論点になっていたことから、それにつきまして、その評価結果を報告するものだと記憶しております。

また、敷地の地質・地質構造につきましては、敷地内にF-1断層がございますので、それについて評価するような話になっておりましたので、その調査の状況について報告するものでした。

○記者 調査の状況ということだったのですけれども、この日に現地調査の日程なども決められたりする御予定でしょうか。

○児嶋総務課長 それはまだ恐らくそこまではいかないと思います。まず、評価の中間的な報告を受けるような話だと記憶しています。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。カワダさん。

○記者 朝日新聞のカワダと申します。

明日の議題4なのですけれども、これは8月の時点でほかに近大と京大というのがあったのですけれども、これ以外にもあったというものなのか、そこの詳しいことが分かったということなのか、どちらなのでしょう。

○児嶋総務課長 今のところ、それ以外には近大、京大、あとは今回のNSRRの関係だと聞いています。それについて、より詳しく、調査漏れがあったか、なかったかを報告するものです。

○記者 分かりました。

あと、もう一つ、審査会合で30日の月曜なのですけれども、STACYがなくなった、議題から外れたと思うのですが、これはなぜでしょうか。

○児嶋総務課長 準備が間に合わなかったようです。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—